



## 2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
診療所	医療法人 大成会 大庭医院	鹿児島県霧島市牧園町宿窪田 941 番地 1	無床

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。  
 2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。  
 3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
訪問看護ステーション牧園	鹿児島県霧島市牧園町宿窪田 941 番地 1	
牧園ヘルパーステーション	同	
居宅介護支援事業所牧園	同	
ミニデイサービス みんなの家	同	
通所介護事業所 みんなの家 【霧島市より指定管理】	同	

- 注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考
なし		

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項  
 令和3年5月28日 令和2年度決算の決定

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。

医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

注) 1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。

2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。

なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

令和〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇病院開設許可（令和〇〇年開院予定）

令和〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇診療所開設

令和〇〇年〇〇月〇〇日 訪問看護ステーション〇〇開設

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

令和〇〇年〇〇月〇〇日 公害健康被害の補償等に関する法律の公害医療機関

令和〇〇年〇〇月〇〇日 小児救急医療拠点病院

令和〇〇年〇〇月〇〇日 エイズ治療拠点病院

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

(9) その他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）

様式 2

法人名 医療法人 大成会  
 所在地 鹿児島県霧島市牧園町宿窪田941番地1

※医療法人整理番号

財 産 目 録  
 (令和4年3月31日現在)

1. 資 産 額 198,205 千円  
 2. 負 債 額 113,167 千円  
 3. 純 資 産 額 85,037 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	38,539
B 固 定 資 産	159,666
C 資 産 合 計 (A+B)	198,205
D 負 債 合 計	113,168
E 純 資 産 (C-D)	85,037

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

建 物 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名 医療法人 大成会

※医療法人整理番号

所在地 鹿児島県霧島市牧園町宿窪田941番地1

貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	38,539	I 流動負債	4,268
現金及び預金	17,224	支払手形	0
事業未収金	19,552	買掛金	440
有価証券	0	短期借入金	0
たな卸資産	606	未払金	3,199
前渡金	0	未払費用	0
前払費用	1,147	未払法人税等	71
その他の流動資産	10	未払消費税等	0
II 固定資産	159,666	前受金	0
1 有形固定資産	113,572	預り金	558
建物	107,611	前受収益	0
構築物	4,060	その他の流動負債	0
医療用器械備品	0	II 固定負債	108,900
その他の器械備品	1,901	医療機関債	0
車両及び船舶	0	長期借入金	108,900
土地	0	繰延税金負債	0
建設仮勘定	0	その他の固定負債	0
その他の有形固定資産	0	負債合計	113,168
2 無形固定資産	753	純資産の部	
借地権	0	科目	金額
ソフトウェア	596	I 資本金	5,000
その他の無形固定資産	157	II 資本剰余金	0
3 その他の資産	45,341	II 利益剰余金	80,037
有価証券	0	繰越利益剰余金	80,037
長期貸付金	0	III 評価・換算差額等	0
保有医療機関債	0	その他有価証券評価差額金	0
その他長期貸付金	0	繰延ヘッジ損益	0
役職員等長期貸付金	0	純資産合計	85,037
長期前払費用	0	負債・純資産合計	198,205
繰延税金資産	0		
その他の固定資産	45,341		
資産合計	198,205		

- (注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。
2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。
3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

法人名 医療法人 大成会

※医療法人整理番号

所在地 鹿児島県霧島市牧園町宿窪田941番地1

損 益 計 算 書  
(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		54,143
2 事業費用		
(1) 事業費	7,527	
(2) 本部費	65,275	72,802
本来業務事業利益		△ 18,659
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		86,084
2 事業費用		83,327
附帯業務事業利益		2,757
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		0
2 事業費用		0
収益業務事業利益		0
事業利益		△ 15,902
II 事業外収益		
受取利息	4	
その他の事業外収益	4,110	4,114
III 事業外費用		
支払利息	138	
その他の事業外費用	0	138
経常利益		△ 11,926
IV 特別利益		
固定資産売却益	0	
その他の特別利益	2,000	2,000
V 特別損失		
固定資産売却損	0	
その他の特別損失	0	0
税引前当期純利益		△ 9,926
法人税・住民税及び事業税	71	
法人税等調整額	0	71
当期純利益		△ 9,997

- (注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。  
 2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

法人名 医療法人 大成会  
所在地 鹿児島県霧島市牧園町宿窪田941番地1

※医療法人整理番号

--	--	--	--	--	--

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

様式6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人 大成会  
理事長 寺脇 照代 殿

私（注1）は、医療法人 大成会の令和3年会計年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和4年5月25日

医療法人 大成会  
監事 岸本 博人

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」とし、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。